

調査事業(計画策定事業) 事業評価要約版(30年度)

支局	No.	自治体・協議会名	二次評価
		事業概要	
		自己評価	
岐阜	6	<p>養老町地域公共交通会議</p> <p>【町の上位・関連計画の整理と公共交通の現状整理】 養老町の人口の推移、町の機能特性を整理する共に総合計画等の上位計画による町の基本方針の整理を行い、交通関連計画(養老線交通圏地域公共交通網形成計画との関連性など)を整理する。また、町内を運行する公共交通路線の利用状況や運行状況を整理するとともに、運行にかかる経費、内訳となる国・県補助金、町負担金、収支率等を整理する。</p> <p>【町民ニーズの把握】(企画・実施・集計・分析) 町民アンケート、乗降調査、利用者アンケート、主要集客施設調査等の計画、実施収集、分析を行い、町民の公共交通に対するニーズを把握する。また、交通事業者より問題点や改善点等についてヒアリングを行う。</p> <p>【地域懇談会の開催】 地域懇談会を開催し、公共交通に対する町民の意見を聞く。また、会議の資料作成や会議結果のとりまとめを行う。</p> <p>【公共交通の課題整理と地域公共交通網形成計画(素案)の作成】 地域懇談会や町民ニーズの把握でのデータを基に利用者ニーズとの関係や公共交通の在り方等について課題を整理する。また、その課題を踏まえて、町の上位計画との整合性や養老線交通圏地域公共交通網形成計画との整合性を図りながら、持続可能な公共交通網の形成に向けた目標、事業の実施主体、スケジュール等を具体的に反映させた計画のとりまとめを行い、「養老町地域公共交通網形成計画」の計画素案の策定を行う。</p> <p>【協議会開催等】 町民ニーズの把握の結果や公共交通の課題について検討協議を重ねて「養老町地域公共交通網形成計画」の計画策定に向けた協議を行う。</p>	<p>各種調査をスケジュールどおりに実施し、養老線交通圏地域公共交通網形成計画の記載と調整を図りつつ、結果・考察について協議会の場で議論されたことを評価します。</p> <p>デマンドバスについては、利用者数、稼働率等が順調に推移しているとのことですが、養老鉄道やバス路線への接続については課題も見受けられますので、今後の事業設計に期待します。</p> <p>また、近隣市町でも地域公共交通網形成計画の策定を予定しているところがあり、大垣多良線、海津線など当該交通圏における広域的な移動を担うバス路線の確保・維持については、関係市町やその他関係者と連携して取り組まれるよう期待します。</p>
		<p>課題整理等を基礎資料とし、意見の精査を行いながらH31年度に策定予定の地域公共交通網形成計画に反映し、各種施策・事業に取り組んでいく。</p> <p>H31年度については、協議会を年間3回の開催を予定。</p> <p>以後、計画の進捗について、養老町地域公共交通会議において管理していく。</p>	